

科 目 名				学年
情報処理VI : Information Processing VI				5C
教 員 名		末竹規哲 : SUETAKE Noriaki		
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	演習・後期	○
授業概要	4年生で習得した入門知識を基礎にして、実用的なプログラム入門を学ぶ。データのソート、ファイル処理、文字列処理プログラミングなどを通して実用的なプログラムとはどんなものを学ぶ。また、データ構造や再帰プログラミングなどの高度な技法も習得する。			
到達目標		評価方法		
(1)数値積分、連立方程式、1階常微分方程式の解法の習得 (2)小さいシステム制作 (3)高学年にふさわしい報告書が書けること。		評価方法は、①中間試験(35%)、②期末試験(35%)、③演習レポート(20%)、④自学自習によるレポート(10%)によって評価する。		
学習・教育目標		(B) ①	JABEE基準1(2)	(c)
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	ポインタの復習	4年生のときの復習をする。	
	第2	構造体	構造体の基礎を学ぶ。	
	第3	線形リスト1	構造体を使用して線形リストの学習をする。	
	第4	線形リスト2	構造体を使用して線形リストの学習をする。	
	第5	線形リスト3	構造体を使用して線形リストの学習をする。	
	第6	演習3-1	線形リストの挿入、削除の基本を学習する。	
	第7	演習3-2	線形リストの挿入、削除の基本を学習する。	
	第8	演習3-3	線形リストの挿入、削除の基本を学習する。	
	第9	データのソートと検索1	線形リストを利用した検索を行う。	
	第10	データのソートと検索2	ソートアルゴリズムを数種類学ぶ。	
	第11	データのソートと検索3	ソートアルゴリズムを数種類学ぶ。	
	第12	演習4-1	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。	
	第13	演習4-2	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。	
	第14	演習4-3	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。	
第15	まとめ	情報処理全体のまとめを行う。		
自学自習の内容		課題として演習問題を示す。レポート課題を課す。		
関連科目		情報処理I、情報処理II、情報処理III、情報処理IV、情報処理VI		
教科書		基礎C言語プログラミング(河野ら:共立出版)		
参考書				
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員		廣原志保 : HIROHARA Shiho		
備考				